

2021年度京都市ごみ減量推進会議 市民等からの提案によるごみ減量モデル事業助成

食品ロス削減のための出前授業



セカンドハーベスト京都 食品ロス削減啓発事業

実施実績

実施日	実施対象	クラス	人数
2021年6月22日	京都市立待凰小学校	2	58
2021年6月29日	京都市立鞍馬小学校	2	5
2021年8月12日	京都友の会西山方面	1	23
2021年10月26日	京都産業大学	1	25
2021年12月1日	洛南高等学校附属小学校	3	79
2021年12月8日	立命館大学	1	220
2021年12月8日	京都市立向島藤ノ木小学校	1	29
2021年12月14日	洛南高等学校附属中学校	7	245
2022年1月24日	京都府立大学	1	31
	合 計		715

2021年6月22日 京都市立待凰小学校



2021年6月29日 京都市立鞍馬小学校





2021年10月26日 京都産業大学



2021年12月1日 洛南高等学校附属小学校



2021年12月8日 立命館大学



2021年12月8日 京都市立向島藤ノ木小学校



2021年12月14日 洛南高等学校附属中学校



2022年1月24日

京都府立大学（オンラインのみ）



小学生の感想

食品ロスがたくさんあって、まだ 
食べらぬのに捨てられていることに
悲しくなりました。

こんなにまだ食べらぬのに捨てていて、
世界中に栄養がとれない子どもたちも
たくさんいて、その子どもたちに届けたい
です。前は賞味期限がもうすぐだからと
捨てることばかりでしたが、食べらぬものは
捨てないでいたいと思います。



食品ロスは一年で東京ドーム45個分くらい 
うまるほど、多いことに驚きを持ちました。それを
防ぐために頑張るセカンドハーベスト京都さん
はすごいなあと思いました。ほくも世界を
守ることをしたいと思いました。
ありがとうございました。



大学生の感想

4.食品ロスについて知識を得たことですごく私たちに身近な問題であると思うことが出来ました。食品は私たちが毎日行う主要な買い物の一つだと思うので、もっと気に掛けることが出来ることだと思いました。同時に気に掛けることで食品ロスの効果も大胆に出るのではないかと思いました。自宅では、気軽に取り組みそうな気もしましたが、同時に食品関係のバイト先では食品ロスについての行動を起こすことが難しそうだと思いました。なぜなら、食品を提供しているビジネスである以上食品の安全については絶対的な約束が必要だからです。例えば、賞味期限が切れた物でも、見た目が悪い物でも、もし食べたときに食中毒などの問題が起こってしまえば、企業のブランドイメージが低下します。そのことを考えたときに、フードバンクに協力してくれる企業を探すのは大変なのではないかと疑問に思いました。

フードバンクという言葉は聞いたことがあったが、意味は知らなかったし、フードロスと食品ロスが違う意味だということも知らなかったので、とても勉強になった。また、こんなにも困窮している人がいて、衣食住でやはり一番「食」が大事であるのに、その中のほとんどの人が食費を削らないといけない状況であることが印象的だった。まだ食べられるものを捨ててしまっている人がいたが、お餅さえも食べられない人がいるということを知って、理解してもらおうと、より食品ロスが減り、もっと食品にありがたみを持ってもらえるのではないかと思う。

京都市立待鳳小学校 フードドライブ実施

